

# 帆船型旅客船「クイーン芦ノ湖」

—心ときめくクルーズ—

New Pirate Ship “QUEEN ASHINOKO”



艦船事業本部 横浜事業所

## 2.2 低騒音、低振動

本船は旅客船としての快適性を追求し、低騒音、低振動を目指しました。主機関、補機関は防振支持とし、船体への振動の伝播を防ぎ、制振材、遮音材等を各部に配置することにより、客室への騒音、振動の伝播を防いでおります。従来船に比べ 10 dB の騒音低減を達成しました。

## 2.3 バリアフリー採用

本船は旅客船として、バリアフリーを全面的に採用しています。バリアフリーエレベータ、バリアフリートイレ、バリアフリー席、車椅子置き場、運航情報表示装置、点字表示、点状ブロック、バリアフリーカウンターまで装備し、「人にやさしい船」となっております。

## 1. はじめに

本船は、富士箱根伊豆国立公園の芦ノ湖に浮かぶ、今や箱根観光の目玉として定着している海賊船です。箱根観光船株式会社殿からご発注をいただき、2019年4月10日に引き渡されました。本船の主な特徴を紹介します。

## 2. 本船の特徴

日立造船 神奈川工場で1隻目「パイオニア」が1964年に建造されて以降、「ビクトリア」（1980年）、「ロワイヤル」（1987年）、「バーサ」（1991年）、「ビクトリー」（2007年）、「ロワイヤルII」（2013年）そして本船「クイーン芦ノ湖」と7隻目となります。

本船は「バーサ」の代替として、2015年から計画され多くの打合せを経て建造しました。内装・外装のデザイン及び施工はJR九州の豪華列車「ななつ星 in 九州」などを手掛けたドーンデザイン研究所（代表：水戸岡鋭治氏）にてなされました。

### 2.1 船体 建造方法

本船は国立公園内での建造のため、騒音、排水、塗装ミスト等の環境への影響に対して多大な注意が必要となります。又、造船所ではなく湖岸の狭い修理用船台で建造するので、装備品、工具の置場等がなく、緻密な工程管理が必要となります。甲板下は小さいブロックを現地にトレーラにて運び船台上にて繋ぎ、上部構造はパネルにて組み上げました。

船体は復原性確保のため上甲板下は鋼製とし、上部構造及びマストは軽合金製としました。



図1 バリアフリー設備（車椅子置き場、段差のない引戸、点状ブロック、エレベータ）  
Fig.1 Barrier-free design (Wheelchair space, Non-step door, Braille block, Elevator)



図2 バリアフリー座席  
Fig.2 Barrier-free seat

## 2.4 内外装の特徴

内装は温かみのある木材を床から天井まで贅沢に採用、調度品についても細部までこだわって、クラシック感を演出しました。船体の色は湖の碧に映える上品な黄金色を採用しました。歴代海賊船の伝統を継承しつつ、水戸岡氏デザインの特徴である、上質なリゾート感覚を楽しむことができる居住空間が演出されています。



図3 クイーンの椅子  
Fig.3 Queen's chair

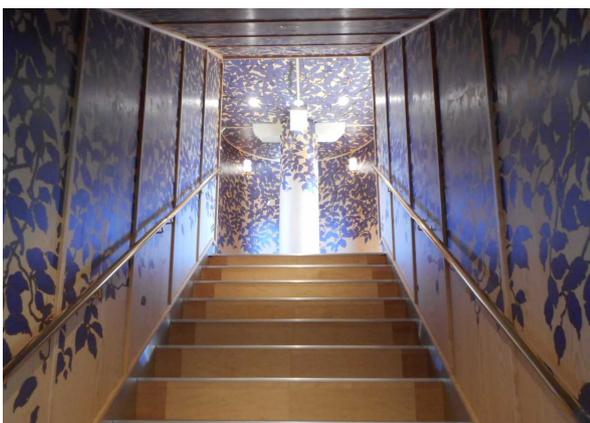


図4 大木をイメージしたデザイン  
Fig.4 Design that imaged large tree

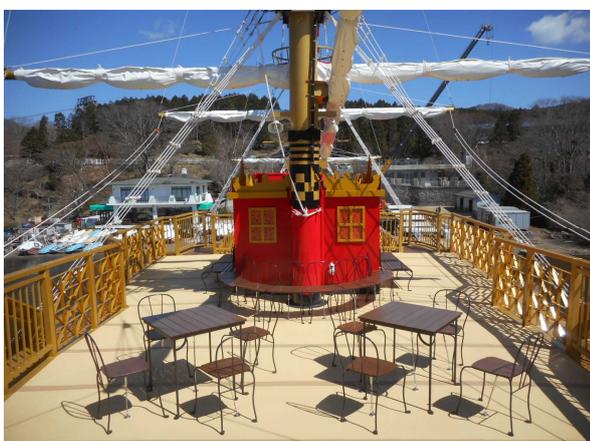


図5 開放感のある4階展望台  
Fig.5 Enjoy a sense of openness on 4F Observation deck

## 3. おわりに

当社の旅客船は、大型カーフェリーからこのような湖の旅客船まで各種製造しています。箱根観光の際は、富士山を背景に海賊船から女王陛下の船に進化した「QUEEN ASHINOKO」で、心ときめくリゾートクルージングを是非お楽しみください。

表1 クイーン芦ノ湖 主要目

Table 1 Principal particulars

全長	35.0 m
最大幅	10.0 m
型 深	2.95 m
総トン数	318 t
定 員	551 名 (旅客最大 541 名+乗組員等 10 名)
主機関形式・出力	ディーゼル機関 423kW×2 基
推進器	固定ピッチ式スクルー×2 基
バウスラスタ	可変ピッチ式スクルー×2 基
舵	フラップラダー×2 基